

報道発表資料
平成28年7月15日
熊谷地方気象台

平成28年7月14日に埼玉県児玉郡上里町から本庄市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日14時頃、埼玉県児玉郡上里町から本庄市にかけて突風が発生し、住家の屋根のトタンの飛散などの被害がありました。

このため7月15日、熊谷地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため、職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は比較的短時間（1～10分程度）であったという証言が複数得られた。
- ・突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が複数得られた。
- ・被害や痕跡から推定した風向に一様性がみられた。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約50m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

(根拠)

- ・住家の屋根のトタンの飛散

* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
熊谷地方気象台
電話 048-521-5858